

# 320列CT装置による、身体にやさしい狭心症検査のご紹介

循環器内科 世良英子

狭心症ってどんな病気？～心臓の血管の動脈硬化は気付かないうちに進行します～

狭心症は、心臓の筋肉を養っている大事な血管（冠動脈）が狭くなり、血液の流れが悪くなることで起こる病気です。きちんとした治療を行わずに放置しておくと命にかかわることもあります。

●●● 狹心症の早期診断の手掛かりは患者さんの症状です ●●●

「運動すると胸が痛くなる」という症状が一般的ですが、これは酸素不足となった心臓からの危険信号です。胸の痛みといつても、その程度や感じ方は人それぞれです。

どんな症状がでますか？

- ✓ 胸が絞めつけられる感じ
- ✓ 息苦しい感じ
- ✓ ドキドキする感じ
- ✓ 胸やけのような不快感
- ✓ 肩こりや下あごの痛み など



どんな時に症状がでやすいですか？

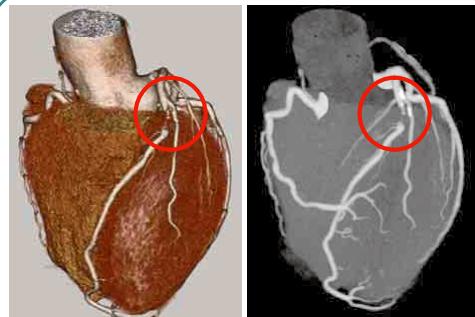
- ✓ 運動をしている時
- ✓ 階段の昇り降りや早歩きをした時
- ✓ 寒いところに出た時
- ✓ 重いものを持った時 など



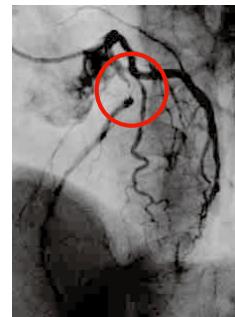
冠動脈CT検査ってどんな検査？

「胸の違和感があるけれど、カテーテル検査は怖い…」そんな声がよく聞かれます。狭心症の検査としてカテーテル検査は重要ですが、入院して、カテーテルを心臓の近くまで入れて検査をするといわれると、誰でも抵抗感があると思います。

冠動脈CT検査は、カテーテル検査と同じような画像を外来検査で撮影することができます。検査時間は20分程度、造影剤を点滴して写真を撮り、検査後はそのまま帰宅できます。後日、外来の診察室でCT画像を見ながら、病状や治療の方法を主治医と相談することができ、カテーテル検査が怖くて一歩踏み出せなかった方にも是非お勧めしたい検査です。



冠動脈 CT 検査画像



カテーテル検査画像

●●●身体への負担が少ない質の良い冠動脈CT検査●●●

関西ろうさい病院の320列CT装置は、多くの施設で使用されている64列CT装置に比べ、心臓の撮影時間が最短0.35秒と短く、不整脈がある方や、息止めが長くできない方でも、きれいな画像を撮ることができます。また、使用する造影剤の量も少なく、被曝の量も半分以下であり、身体への負担をより少なくした冠動脈CT検査を受けて頂くことができます。



気になる胸の症状をお持ちの方は  
一度専門医（循環器内科）にご相談ください。



市民公開講座のお知らせ  
**肺がん治療の最前線**  
患者様に優しい抗がん剤治療・胸腔鏡手術  
平成23年6月25日(土)  
13時～15時(12時半受付開始)  
関西労災病院 管理棟4階 大会議室  
★皆様からの質問コーナーもありますので  
是非お越しください。(予約不要・無料)

独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院

尼崎市稻葉荘3-1-69 TEL 06-6416-1221(代)



HP <http://www.kanrou.net/>

携帯版HP <http://kanrou-mobile.jp/>

(携帯サイト引っ越ししました)

発行人 林 紀夫 編集人 福山 裕

